

⑫ 公開特許公報 (A)

昭55—52910

⑪ Int. Cl.³
G 01 D 5/36

識別記号

庁内整理番号
7905—2F

⑬ 公開 昭和55年(1980)4月17日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 7 頁)

⑭ 光 A/D 変換器

⑮ 特 願 昭53—125914

⑯ 出 願 昭53(1978)10月13日

⑰ 発 明 者 岡田明

川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

⑰ 発 明 者 矢田英孝

川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

⑰ 発 明 者 藤原明生

川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

⑰ 発 明 者 小谷英之

川崎市中原区上小田中1015番地

富士通株式会社内

⑱ 出 願 人 富士通株式会社

川崎市中原区上小田中1015番地

⑲ 代 理 人 弁理士 松岡宏四郎

明 細 書

1. 発明の名称

光 A/D 変換器

2. 特許請求の範囲

連続的な回転変移角を所定の角度に分割し該回転変位に伴ない該角度に逐次間欠的に変換して回転変位装置と、該回転変換装置に一体的に接続されて回転する切換信号発生用回転板と該回転板の所定部位に向け光を投射し該投射された光を受光する投受光部を具えて前記回転変換装置の回転に伴う切換信号を発生する回転切換信号発生部と、光の透過度がそれぞれ異なる複数の透光部を回転方向の所定の角度位置に配設してなる符号発生用回転板を複数とし該符号発生用回転板の第1の符号発生用回転板を前記回転変換装置に一体的に接続せしめ他の符号発生用回転板を該第1の符号発生用回転板の所定角回転により連係して間欠回転せし、少なくとも1以上の符号発生用回転板とするとともに上記符号発生用回転板の所定の透光部位に向け光を投射し該投射された光を受光する投受

光部を具えた符号発生部よりなることを特徴とする光 A/D 変換器。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、機械的なアナログ変移量を光学的手段によってデジタル表示のための信号変換に関する。

連続的に回転しているか、または回転後停止した状態の回転軸の変移した角度或いは位置をデジタルに読み取る方法には、ロータリエンコーダがある。従来このようなロータリエンコーダは一枚の回転円板を設け、この円板面に同心円上で所望の読み取り角度に対応して符号化した透光穴をそれぞれ複数列配設しこの円板を挟んだ光源と受光部を対向配置したもので、この光源から発せられた光が円板の回転に従って透光穴を通る時の断続光を受光部で光電変換し、得られた電気信号を処理することによってデジタルに変換して角度を読み取ることがおこなわれる。このような方法においては、所望とする多数桁たとえば1回転中の角度位置或いは多回転した場合の回転数を読み取る

ためには、これらの数値と対応した透光穴の数が円板上に必要であり、かつ桁数に応じた透光穴を同心円上に複数列環状配設しなければならない。読み取りの精度を高くすることが要求されるような場合、さらには数値の桁数が増加するような場合には透光穴を多く要し円板の直径を大きくしなければならない、その結果装置全体が大きくなる。また、計算処理回路が複雑になるという問題点があった。

本発明は上記問題を解決するものであって、回転軸の変移を読み取るに際して高精度に読み取るため増加する桁数を回転軸の軸方向に単純な構成の回転板を必要桁数付加することにより実現可能にしたものである。すなわち、連続的な回転変移角を所定の角度に分割し該回転変位に伴ない該角度に逐次間欠的に回転させる回転変換装置と、該回転変換装置に接続された切換信号発生用回転板および該回転板に光を投射し該投射された光を受光する投受光部を具えて前記回転変換装置に伴なう切換信号を発生する回転切換信号発生部と、

- 3 -

明する。

本発明による A/D 変換方式の概略構成の一例を第1図に示す。図は連続回転し得る入力軸1の一回転を10等分し36°ごとの間欠回転運動に変換する回転変換装置2と、この回転変換装置2の出力軸3に一体的に接続して装着された回転切換信号発生部すなわちビジ(busy)信号発生部4と、回転角度をデジタル化信号としての符号にする符号発生部5と、光源6からの光を上記ビジ信号発生部4および符号発生部5に導き、これら2および5の各部を通過した光を受光部7に導く導光路8と受光部7で上記光が光電変換されて得られる電気信号を処理する比較回路9等で構成され、入力軸1の角度位置に対応したデジタル信号が比較回路9から出力される。

上記構成についてさらに詳細に以下その動作とともに説明する。前記入力軸1の連続回転を間欠回転運動に変換する回転変換装置2は、入力軸1に取付けられたフランジ21に軸1と平行に嵌設されたピン22が駆動輪23の穴24にはめ合わさ

光の透過度がそれぞれ異なる複数の透光部を回転方向の所定の角度位置に配設してなる複数の符号発生用回転板の第1の符号発生用回転板を前記回転変換装置に接続せしめ、さらに該第1の符号発生用回転板の所定角回転により互いに連係して間欠回転される少なくとも1以上の符号発生用回転板に光を投射し該投射された光を受光する受光する投受光部を具えた符号発生部よりなることを特徴とする A/D 変換器である。以上のように本発明のアナログデジタル変換(以下 A/D 変換という)器によれば出力されたデジタル信号の処理はそれぞれ各桁の回転円板から得られる信号処理をおこなえばよいので処理回路の簡略化が計れる。さらに本発明の A/D 変換器はその方法に光学的手段を用いているため回転変移量を符号化する A/D 変換部と信号処理回路部との間に光導路たとえば光伝送線用光学繊維などを用いて光による結合ならびに伝送ができるため電送線を必要とせず従って電気磁気的な障害を受け難い特徴を有する。本発明の実施例について以下図面を参照し説

- 4 -

れており、これらは第2図(a)の軸と直角な方向からみた正面図に示すような関係にある。第2図(a)で駆動輪23の外周を10等分した突出部が形成されており、それぞれの突出部は全てN磁極25からなる永久磁石であってこの磁極25と対向する下方位置に非接触でS磁極なる固定永久磁石26を対向配置してある。従って駆動輪23は図に示したような磁極250を吸引された状態で停止している。上記穴24は突出部のほぼ1ピッチ分円周方向に長い穴である。入力軸1の回転に伴ってピン22が矢印で示す方向に回ると駆動輪23の穴24の一方の端部すなわち回転方向の端部に当接する。その状態で入力軸1がさらに回転すると駆動輪23の磁極250と固定磁石26の吸引関係が引き離される。その結果半ピッチ以上回転されると駆動輪23は次の磁極251が固定磁石26に吸引されるので第2図(b)に示すような状態になって停止する。すなわち入力軸1の連続的な回転は36°間欠的に回転される。このとき駆動輪23は、入力軸1よりも先行して回転するためピン22が

穴24の中央付近に位置することになる。以上のことを繰り返すと入力軸1の連続回転は駆動輪23を磁極251, 252, ……と3°ごとに歩進回転されておこなわれ、これと一体の出力軸3も間欠回転される。

ビシ信号発生部4は出力軸3と一体に装着された切換信号発生用回転板(以下ビシ用回転板という)41と投受光部42よりなる。ビシ用回転板41は第3図(b)に示すように該板41面の外側に透明な環状部411を設け、この環状部411を10等分するとともに等分した境界部を不透明とし、後述する透過光の遮断部(或いは透過度の異なる部分としてもよい)413が形成されている。すなわちビシ用回転板41は外周部に該板面と直角の方向に透過する光を遮断する仕切り部413と透明窓部412が交互にそれぞれ3°ごとに構成されたものである。投受光部42は上記ビシ用回転板41の環部411を間にして互に対向させた投光部421と受光部422よりなる。そして光源6から発光された光を導光路(以下光ファイバという)8

- 7 -

ルタ面を間にして互に対向させた投光部581, 591と受光部582, 592よりなる。そして光源6から発せられた光を光ファイバ81と光分岐装置10および光ファイバ83, 84を通して投受光部58, 59の入力端から入射し、投光部581, 591の光学系によりビーム光にして符号発生用回転板51, 52と53, 54の濃度フィルタ面に向けて投射する。投射されたビーム光は該濃度フィルタ面を透り受光部582, 592の光学系により光ファイバ86, 87の端部に集束せられ該光ファイバに導入される。

光ファイバ86, 87の他の一端は受光部7の光電変換器72, 73にそれぞれ接続されている。上記間欠回転用送り歯車55, 56, 57はそれぞれ第1の符号発生用回転板51が1回転すると回転板52を10分の1回転すなわち3°回転させ、回転板51が1.0回転すると回転板52が1回転して回転板53が3°回転される。以上のようにして回転板53が1回転すると回転板54が3°回転されるように互いに連係した動作をおこ

の光ファイバ81と光分岐装置10および光ファイバ82を通して投受光部42の入力端から入射し、投光部421の光学系によりビーム光にして、ビシ用回転板41の環部411に向けて投射する。投射されたビーム光は環部411を透り受光部422の光学系により光ファイバ85の端部に集束せられ導入される。つまり投光部421と受光部422の互いの光軸が対向する空間に前記ビシ用回転板41の窓部412と仕切り部413が光ビームを切るように位置している。光ファイバ85の他の一端は受光部7の光電変換器71に接続されている。

符号発生部5は複数の符号発生用回転板すなわち出力軸3と一体的に接続して装着された第1の符号発生用回転板51および軸3に回転自在に挿着された第2以下の符号発生用回転板52, 53, 54, と、これら回転板をその外周に接して設けられた間欠回転用送り歯車55, 56, 57と、前記投受光部42と同様な投受光部58, 59よりなる。この投受光部58, 59はそれぞれ後述する符号発生用回転板51, 52と53, 54の濃度フィ

- 8 -

なうべく周知の間欠伝導方法(詳細は図示せず)で構成されている。回転板51と53は第3図(a)に示すように該板51, 53の外側に所定幅を~~0とし~~^て環状部を設け、この環状部をイからヌで示すように10等分しそれぞれ各部分の光の透過減衰率_{を0とし}がイ部10分の1ずつ減衰し0, 1, ……8, 7, 9となるように濃度フィルタで構成する。さらに、円板52, 54は上記回転板51, 53と同様に環部を設け10等分した該部のイからヌの各部分の光の透過減衰率がこの場合イ部を0とし、順次0, 10, 20, ……80, 90と10ステップごとに減衰するものとする。以上の関係を第4図(a), (b)に示す。第4図(a)は横方向に回転板51, 53の濃度フィルタイ~ヌの位置を示し縦方向に光透過減衰率を示す図であってイ~ヌの間でそれぞれ光の透過減衰が透明なイ部分を0とし、ロ部分で1, ……リ部分で8ヌ部分で9、すなわちヌの部分ではイの部分よりも光の透過度が9分の1となることを示す。また、第4図(b)は横方向に回転板52, 54の濃度フィルタイ~ヌの位置を示し縦方向に

光透過減衰率を示す図であって、イ〜ヌの間でそれぞれ光の透過減衰が透明なイ部を0とし、ロ部分で10………リ部分で80、ヌ部分で90、すなわちヌの部分ではイの部分よりも光透過度が90分の1となることを示す。次に第1図の構成に示すように符号発生用回動板51と52、53と54の組み合わせで回動させる場合最初、全ての回動板のイ部分が投受光部58、59の光軸上に在るよう^にに設置させる。ここで説明を理解し易くするため一方の符号発生用回動^板51と52の組み合わせについて以下述べる。

いま入力軸1が第3図(a)の回動板を矢印で示す方向に回転すると、回動変換部2によって軸3と一体の回動板51は、投受光部58の光軸上で濃度フィルタがイ、ロ、ハ………リヌと間欠的に回動され再びイに回動されるとき間欠回動用送り歯車55によって回動板52の濃度フィルタがイからロの位置に回動される。さらに軸1が回転して再び回動板51のフィルタ位置がイとなると回動板52のフィルタ位置はハに回動される。以上の

-11-

を受光装置7で光電変換すれば光の変化に応じた電気信号が得られる。この電気信号は比較処理回路9にされ該回路に予め設定された基準レベル信号と比較処理させてデジタル信号として後述する回動板53、54から得られるデジタル信号と合成して出力端子11から出力される。回動板53、54の組み合わせは上述の回動板51、52の構成、動作と全く同様であるが、入力軸1が10回転すると回動板52および間欠回動用送り歯車56によって回動板53が3°回動され、さらに入力軸が回転すると回動板53および間欠回動用送り歯車57によって回動板54が3°ごとに回^す動される。従って入力軸1が1000回^す回転すると回動板54が1回転する。光分岐装置10から光ファイバ84で光を導き投受光部59で回^す動板53、54のフィルタ部に投射した上記光がフィルタ部分を^{後光部592からの光出カと}透過した後の受光装置7に光ファイバ87で導き光電変換して比較処理回路9にし前^述と同様にデジタル信号として出力端子11から出力させる。但しこのとき入力軸1の回転に対して多回転

-13-

特開昭55-52910(4)

ようにして回動板52は逐次回動される。このとき、投受光部の受光部において投射された光が回動板51、52のフィルタを透過した^後の受光状態を上記回動板51、52の最初の状態から示すと、第5図に示すようになる。図は、横方向に回動板51、52の濃度フィルタイ〜ヌの位置を示し^な従方向に光透過減衰率を示す。図から明らかな^にように、始め回動^板52のフィルタ位置イ部において回動板51が1回転すると、透過光は該イ部の組み合わせで段階的に減衰しさらに回動板52のフィルタ位置ロ部との組み合わせに重畳して段階的に減衰する。この^ように回動板51、52の回転に従って順次回動板52のフィルタ位置と回動板51のフィルタ位置との組み合わせによって、光の透過度が段階的に0,1,2,3………49,50,51………97,98,99と減衰した光が受光部582に入射される。すなわち入力軸1の10回転を回動板51および52の組み合わせによって0から99の100分の1ごとの光の強度変化として信号を得ることができる。従ってこの光の変化

-12-

すなわち桁機能を付与するために該回動板53、54から得られた電気信号を比較処理回路9内において100分の1に減衰させて、前記回動板51、52の信号と重畳し合成させて処理すると、デジタル信号として0,1,2………,9999の各信号が得られる。さらに符号発生用回動板51〜54を回動させ各フィルタの境界部分が投受光部58、59の光路を横切る時、隣り合うフィルタの合^成光がそれぞれの受光部582,592に入射され誤った信号を発生する原因となることがある。そこでこれらフィルタの境界部が光路を横切る時には比較処理回路9において信号処理をおこなはないよう^にビシ信号発生部4のヒシ用回動板41仕切り部413が該部の投受光部42の光ビームを切ることにより生じた信号(ビシ信号)を受けておこなはせる。なお、このビシ信号は前記符号発生用回動板51〜54のフィルタ境界部が各光電変換部58、59の光路を切る時期に発生するよう関係づけられている。

さらに本発明はA/D変換用信号発生部として

-56-

-14-

の符号発生用回転板の濃度フィルタに投射される光度が変動すると当然受光部 582, 592 に入射される光度に変化があらわれ、これが原因であたかもフィルタ位置が変移したために光度が異なると同様に出力されて信号処理される恐れがある。このような障害の除去或いは発生を防ぐためにビジ信号発生部 4 が機能する。すなわち、全ての符号発生用回転板 51 ~ 54 のフィルタ、1 部分を投受光部 58, 59 の光軸上に一致させ、ビジ用回転板 41 の透明窓 412 も投受光部 42 の光軸上になるよう位置させる。このようにするとそれぞれの投受光部 42, 58, 59 の投光部に供給される光の供給源は 6 から共通に供給されることになっているため上記全ての投受光部の投光部には該光源 6 の状況が同じ条件で作用することにある。ここで受光装置 7 の全ての光電変換器 71, 72, 73 で変換された電気信号の出力レベルを所定レベルに一致させる。入力軸 1 の回転によって符号発生用回転板 51 ~ 54 のフィルタがそれを変移した位置において光源 6 の輝度が変化した場合ビ

-15-

となるようにして信号処理をおこなえば前述の場合と全く同様 0, 1, 2, …… 9999 のデジタル信号が出力端子 11 から出力される。このようにすると符号発生回転板 51 ~ 54 の濃度フィルタ構成が全く同じものでよく、同フィルタ部分を透過する光の減衰率が最大 10 分の 1 であるために光学的に安定である特徴がある。

本発明による A/D 変換部は光学的に外界光と遮断するための遮光用カバー等で覆はせることはいうまでもない。

以上詳細に述べたように本発明による A/D 変換方式は連続的に回転する入力を間欠的に回転するよう変換し、その回転運動を第 1 の符号発生用回転板に連接伝導し以下この第 1 の符号発生用回転板の所定角回転により互いに連係して間欠回転される複数の回転板に伝達し、それぞれ間欠回転角位置に濃度フィルタを段階的に透過光の光度が異なるよう配設し、投受光部を回転板の該濃度フィルタを挟んで設けて構成し、光源からの光を光分岐装置及び光ファイバを通して該濃度フィルタに投

シ用回転板 41 の透明窓 412 を通る光の光電変換出力を基準レベルとして他の受光部 582, 592 からの光の光電変換出力を前記比較処理回路 9 内で比較処理させて補償し、光源 6 の輝度変化に伴う出力変動を打ち消すことがおこなえる。

本発明による他の実施例を第 6 図に示す図において第 1 図と同様機能を有するものは同じ符号で示す。第 1 図で述べたことと異なる点は符号発生用回転板を 51 に対して 52, 53, 54 を全て同一構成の濃度フィルタ特性のものとしそれぞれに投受光部 58, 58', 59, 59', を具え、該投受光部に光ファイバ 83, 83' 84, 84' によって光分岐装置 10 からの光を伝導供給するとともに光ファイバ 86, 86' 87, 87' によって光を導出し受光部 7 の光電変換器 72, 72' 73, 73' にそれぞれ対応して接続したことにある。そして比較処理回路 9 内において光電変換器 72 から得られる電気信号に対して 72' の信号を 10 分の 1、72' の信号に対して 73 の信号を 10 分の 1、73 の信号に対して 73' の信号を 10 分の 1

-16-

射して該濃度フィルタを透過した該光を光ファイバにより光電変換器に導き電気信号に変換し基準信号とレベル比較処理してデジタル信号にするものであり、ビジ信号部からの切換信号、さらに光度レベル変化補償信号により安定して A/D 変換をおこなうことができる。各桁を軸方向に設けたことにより装置の小型化が計れる。さらに光源および、信号処理部と A/D 変換部に光ファイバ等の導光路を用いることができるため伝送路上における電気磁気的な障害、たとえば落雷、放電等による誘導障害を受けない等、優れた効果を奏するものである。

また本発明は上述の実施例にとどまらず種々に変形し或いは応用して実施することができる。

4. 図面の簡単な説明

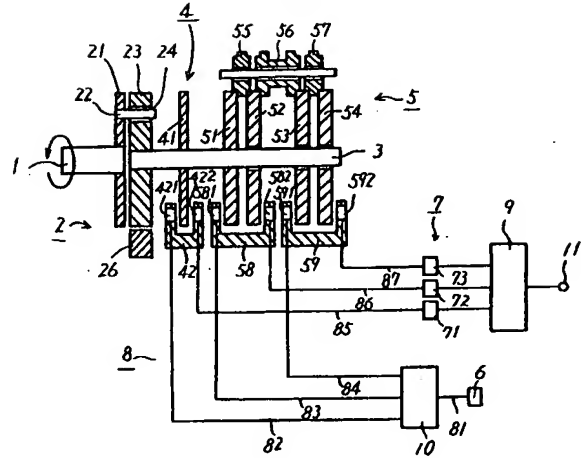
第 1 図は本発明による実施例を示す構成図、第 2 図(a)(b)は回転変換装置の説明図、第 3 図(a)および(b)は符号信号発生用回転板およびビジ用回転板の面をそれぞれ示す。第 4 図(a)(b)は符号信号発生用回転板の濃度フィルタ光透過特性を示す図、第

5図は濃度フィルタの組み合わせによる光透過特性を示す図、第6図は本発明の他の実施例を示す構成図。

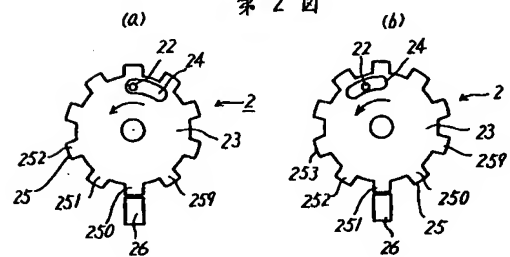
1は入力軸、2は回動変換装置、3は出力軸、4はビシ信号発生部、5は符号信号発生部、6は光源、7は受光部、8は光ファイバ、9は比較処理回路、10は光分岐装置、11は出力端子。

特許出願人 富士通株式会社
代理人 弁理士 松岡宏四郎

第1図

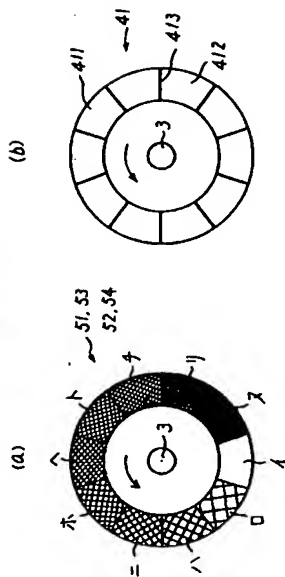


第2図

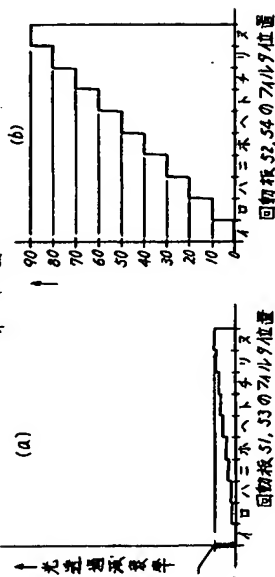


-19-

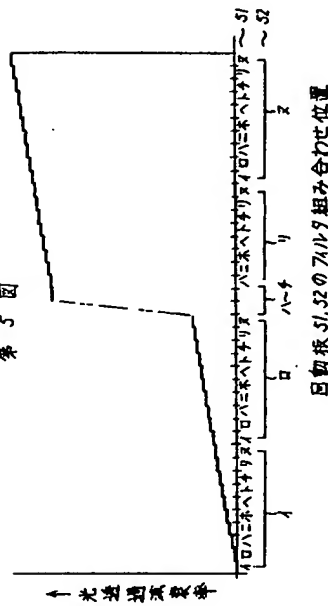
第3図



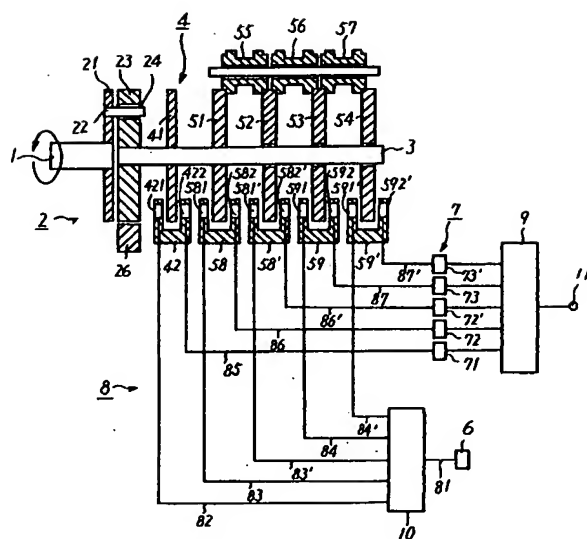
第4図



第5図



第 6 図



PAT-NO: JP355052910A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 55052910 A

TITLE: OPTICAL A/D CONVERTER

PUBN-DATE: April 17, 1980

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

OKADA, AKIRA

YADA, HIDETAKA

FUJIWARA, AKIO

KOTANI, HIDEYUKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUJITSU LTD

N/A

APPL-NO: JP53125914

APPL-DATE: October 13, 1978

INT-CL (IPC): G01D005/36

US-CL-CURRENT: 250/231.14

ABSTRACT:

PURPOSE: To make it possible to read out the dislocation of a rotary shaft in high accuracy by converting the rotations of an input shaft into intermittent motions thereby to generate optical signals corresponding to the intermittent motions.

CONSTITUTION: One rotation of an input shaft 1, which can rotate continuously, is divided into two intermittent rotations of 36 degrees. A signal generator 4, which is made integral with an output shaft 3, is equipped with a rotational plate 41 and a projecting and receiving unit 42 thereby to generate a busy signal. On the other hand, a rotational angle is converted by means of density filters 51 and 54 into digital signals at 5. Those two signals are generated by introducing the light from a light source 6 through an optical guide 8 and are photoelectrically converted by a light receiving unit 7. The electric signals generated are fed to a comparator circuit 9 and

processed so that the digital signals corresponding to the angular position of the input shaft 1 are generated.

COPYRIGHT: (C)1980,JPO&Japio